

グリーンカーテン通信 No.3

令和4年7月10日号

ゴーヤとホップの花

ゴーヤは、はじめに雄花が先に咲いて、あとから雌花が付いてきます。低温時と30℃を超えるときは、生育が遅くなり雌花もつきにくいです。

花は一日でしぼみますので、朝のうちに雄花を摘んで雌花のめしべに受粉させると確実に実がなります。

一方、ホップは雌花と雄花を別の株につける植物です。ビールに利用されるのは、雌株に付くつぼみです。このつぼみは、多数の花が集まって球状になります。

市役所庁舎カーテンの様子

市役所庁舎のグリーンカーテンは、摘芯を行ってツルが横にも茂ってきています。大きい親ヅルは、窓の半分ほどになってきました。ホップも、暑さに負けず元気にツルを伸ばしています。

葉の陰には、ゴーヤの実がすくすくと成長中です。毎日成長を見ながら、収穫のタイミングを逃さないように観察を続けていきます。



<7月6日撮影>



<ワンポイント>追肥をしましょう

ゴーヤの追肥は、植え付けてから間もない幼苗時期には液体肥料が適しています。固形肥料（化成）は、花が付くころから適します。月に2回程度、1株に10gくらい与えましょう。

ホップの場合、化成肥料なら1回、液体肥料なら1か月に2～3回与えます。



◆この記事に関するお問い合わせはコチラ◆

〒959-1692

五泉市役所 環境保全課環境政策係

五泉市太田1094-1 TEL0250-43-3911